

令和3年度
事業報告書

社会福祉法人潤和会

令和3年度

社会福祉法人潤和会 事業報告書 目次

1. 令和3年度概要	1
2. 法人事業概要	2
3. 理事会状況	3
4. 評議員会状況	4
5. 職員状況	5
6. 運営組織図	6
7. 職員会議等	7
8. 運営委員会	8
9. 施設全体行事等	11
10. 職員研修等	12
11. 特別養護老人ホームなごみ事業	14
12. ショートステイなごみ事業	18
13. デイサービスセンターなごみ事業	21
14. ケアハウスひだまり事業	24
15. その他	29

1. 令和3年度概要

新理事長による新体制への移行という法人設立以来の大きな転換期となる年度であったが、それにとともなう様々な課題や諸手続等に対して適切に対応し、従来と変わらぬ法人運営を継続することができた。

各事業所運営では、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に積極的に取り組んだ。

職員に対しては、日々の体調管理、マスク着用、手洗い等の基本的な感染防止対策の徹底を求め、施設内では換気、消毒等の徹底、利用者への面会は直接面会を制限し、職員を含む外部から施設内への感染防止を図った。

反面、前年度同様にご利用者、ご家族には多大なご不便をかけることになったが、行事食の充実や特養家族会から毎月頂いた季節を感じさせるおやつによる「食の楽しみ」の提供、リモート面会や窓越し面会の活用等に努めた。

また令和3年度は、4月施行の介護報酬改定への対応が求められた。特に自立支援、重度化防止のためのケアの提供を目的として導入された「科学的介護情報システム（Long-term care Information system For Evidence：LIFE）」に対して、その活用体制の構築と関連加算取得に取り組んだ。

経営面では、前年度の各事業所における稼働率低下による大きな収入減を挽回することが求められたが、これを見事に挽回することができ、介護保険事収益は対前年度105.5%であった。ただ、これに甘んじることなく、ある程度通常に戻すことができたと捉え、さらに上を目指したい。

今だ先行きのみえない新型コロナウイルス感染症、さらに原油価格高騰や世界情勢不安を起因とする光熱水費をはじめとする異常な価格上昇等、今後も様々な課題が山積であるが、それら課題に適切に対処し、安定した経営を保ち、ご利用者本位のサービス、その実現のための職員が働きやすい職場環境の整備、そして地域福祉への貢献に今後もより一層努めてまいりたい。

2. 法 人 事 業 概 要

- (1) 法 人 名 社会福祉法人潤和会
- (2) 所 在 地 愛媛県西条市周布 326 番地
- (3) 設立認可年月日 平成 14 年 4 月 15 日
- (4) 法人事業

第 1 種社会福祉事業

事業種別	施設名	定員	事業開始年月日
特別養護老人ホーム	特別養護老人ホームなごみ	50 名	平成 15 年 4 月 1 日
軽費老人ホーム	ケアハウスひだまり	20 名	平成 15 年 4 月 1 日

第 2 種社会福祉事業

事業種別	施設名	定員	事業開始年月日
老人短期入所事業	ショートステイなごみ	10 名	平成 15 年 4 月 1 日
老人デイサービス事業	デイサービスセンターなごみ	30 名	平成 15 年 4 月 1 日

公 益 事 業

な し

その他事業

な し

3. 理事会状況

(1) 役員の構成（令和4年3月31日現在）

理 事 定数 6 名 （現員 6 名）

監 事 定数 2 名 （現員 2 名）

(2) 理事会開催状況

開催年月日	決 議 事 項		出席者数／定数	
			理 事	監 事
令和3年5月31日	議案第 1 号	令和2年度事業報告書の承認について	5/6	2/2
	議案第 2 号	令和2年度決算報告書の承認について		
	議案第 3 号	役員（理事・監事）の選任候補者について		
	議案第 4 号	評議員選任・解任委員の選任について		
	議案第 5 号	就業規則の一部改正について		
	議案第 6 号	法人運営事業所の諸規定の一部改正について		
	議案第 7 号	評議員会（定時評議員会）の招集について		
令和3年6月24日	議案第 8 号	理事長及び業務執行理事の選定について	書面決議 全員同意	書面決議 全員異議なし
令和4年3月25日	議案第 9 号	令和3年度資金収支第1次補正予算の承認について	6/6	2/2
	議案第 10 号	令和4年度事業計画の承認について		
	議案第 11 号	令和4年度資金収支当初予算の承認について		
	議案第 12 号	給与規程の一部改正について		
	議案第 13 号	評議員会の招集について		

4. 評議員会状況

(1) 評議員の構成（令和4年3月31日現在）

評議員 定数 7名（現員 7名）

(2) 評議員会開催状況

開催年月日	決議事項等		出席者数/定数
令和3年6月24日	議案第1号	令和2年度決算報告書の承認について	7/7
	議案第2号	役員（理事・監事）の選任について	
	報告第1号	令和2年度事業報告について	
	報告第2号	評議員選任・解任委員の選任について	
令和4年3月31日	議案第3号	令和3年度資金収支第1次補正予算の承認について	7/7
	議案第4号	令和4年度事業計画の承認について	
	議案第5号	令和4年度資金収支当初予算の承認について	

5. 職員状況

種 別	令和4年3月31日現在配置数				令和3年度中 退職者数	令和3年度中 入職者数
	特 養	短期入所	デイサービス	ケアハウス		
施設長	1					
事務長	1					
事務職員	2			(1)		
生活相談員	1〔1〕	1〔1〕	1	1		
介護支援専門員	1					
機能訓練指導員	(1)		(1)			
看護職員	3	〔2〕	4		2	1
介護職員	27	〔27〕	8【1】	2	2	2
管理栄養士	1					
調理員	6【1】			2		
嘱託医	【1】					
介護助手	【3】		【1】	【1】		3
宿直員	〈6〉【1】					
合 計	71				4	6

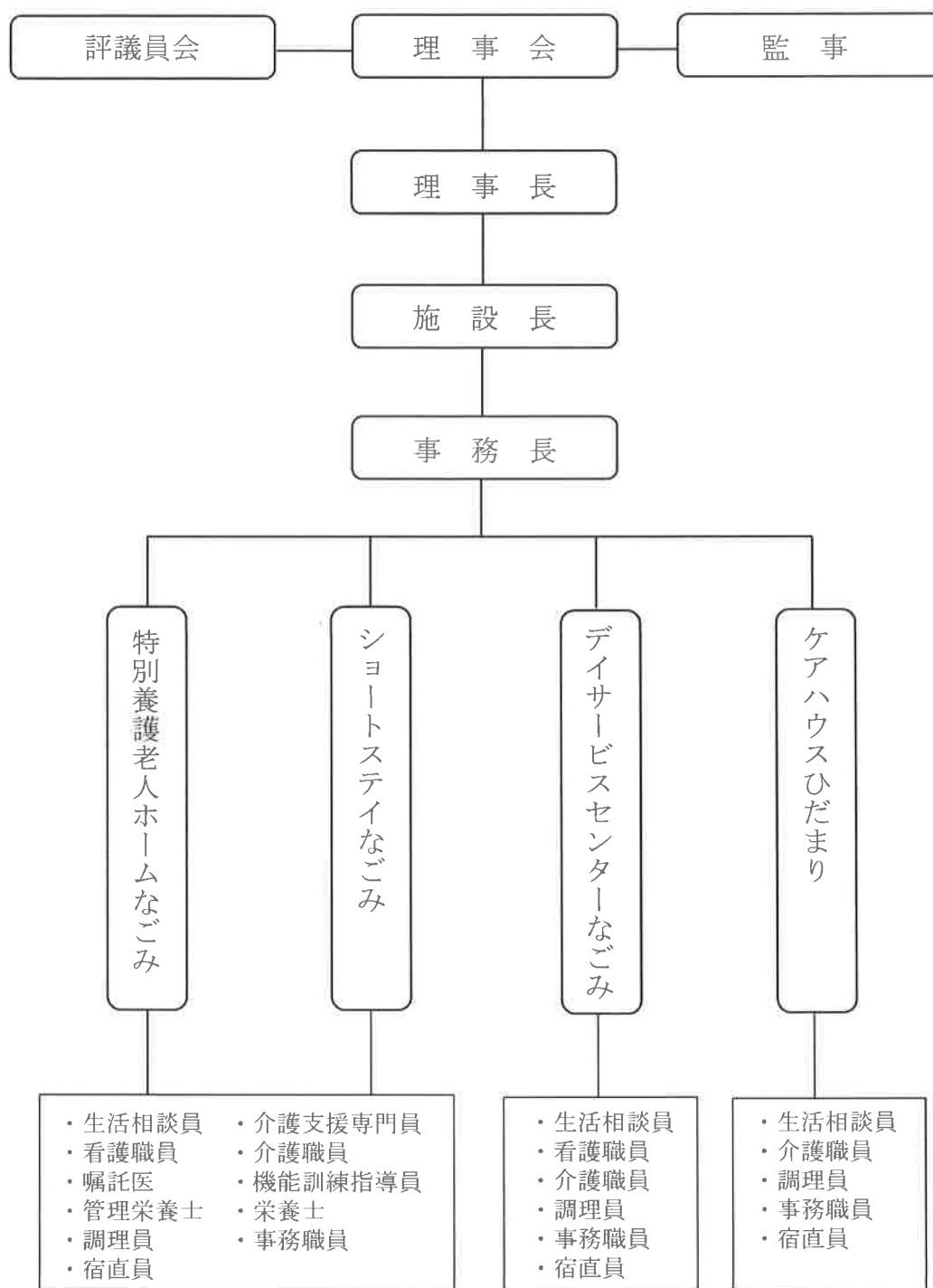
() 書きは同部門の他職種が兼務

〔 〕 書きは他部門の同職種が兼務

〈 〉 書きは他部門の他職種が兼務

【 】 書きは非常勤職員

6. 運営組織図 (令和4年3月31日現在)



7. 職員会議等

(1) 担当者会

開催日：4月度 令和3年4月21日(水)
5月度 令和3年6月4日(金)
6月度 令和3年6月16日(水)
7月度 令和3年7月21日(水)
8月度 令和3年8月18日(水)
9月度 令和3年9月15日(水)
10月度 令和3年10月20日(水)
11月度 令和3年11月17日(水)
12月度 令和3年12月15日(水)
1月度 令和4年1月19日(水)
2月度 令和4年2月16日(水)
3月度 令和4年4月6日(水)

出席者：施設長、事務長、各事業所相談員、特養介護支援専門員、
看護リーダー、管理栄養士

協議事項：各事業所状況報告及び確認、各事業所運営に係る諸課題

(2) 防災対策会議

開催日：令和3年4月28日(水)
令和3年7月28日(水)
令和3年10月27日(水)
令和3年12月22日(水)
令和4年1月26日(水)
令和4年3月1日(火)
令和4年4月6日(水)

座長：渡部妙子

出席者：施設長、事務長、各事業所相談員、特養介護支援専門員、
看護リーダー、管理栄養士、事務職員

協議事項：災害対策について（施設内研修 年1回）
火災、災害訓練の実施（年3回程度）
事業継続計画（BCP）の策定と見直し〔災害・感染症〕

8. 運営委員会

(1) 安全対策委員会（兼 身体拘束廃止委員会）

開催日：4月度 令和3年4月28日(水)
5月度 令和3年5月26日(水)
6月度 令和3年6月23日(水)
7月度 令和3年7月28日(水)
8月度 令和3年8月25日(水)
9月度 令和3年9月22日(水)
10月度 令和3年10月27日(水)
11月度 令和3年11月24日(水)
12月度 令和3年12月22日(水)
1月度 令和4年1月26日(水)
2月度 令和4年2月24日(木)
3月度 令和4年3月23日(水)

委員長：森川恵一

出席者：施設長、担当者会メンバー、特養フロアリーダー、他

活動内容：施設内のリスク対策全般（施設内研修 年2回）
身体拘束廃止についての勉強と対策（施設内研修 年2回）
高齢者虐待防止についての勉強と対策（施設内研修 年1回）
防犯対策についての勉強と対策

(2) 医療関係委員会（兼 感染症対策委員会）

開催日：4月度 令和3年4月7日(水)
5月度 令和3年5月12日(水)
6月度 令和3年6月2日(水)
7月度 令和3年7月7日(水)
8月度 令和3年8月4日(水)
9月度 令和3年9月1日(水)
10月度 令和3年10月6日(水)
11月度 令和3年11月10日(水)
12月度 令和3年12月1日(水)
1月度 令和4年1月5日(水)
2月度 令和4年2月2日(水)
3月度 令和4年3月2日(水)

委員長：岡本美紀
出席者：施設長、担当者会メンバー、特養フロアリーダー、他
活動内容：医療関係知識等に係る介護職員への指導(施設内研修 年1回)
看取りケアについての勉強(施設内研修 年1回)
褥瘡防止への取り組み(施設内研修 年1回)
感染症(食中毒含む)対策全般(施設内研修 年2回)

(3) 行事・レク委員会

開催日：4月度 令和3年4月1日(木)
5月度 令和3年5月6日(木)
6月度 令和3年6月3日(木)
7月度 令和3年7月1日(木)
8月度 令和3年8月5日(木)
9月度 令和3年9月2日(木)
10月度 令和3年10月7日(木)
11月度 令和3年11月4日(木)
12月度 令和3年12月2日(木)
1月度 令和4年1月6日(木)
2月度 令和4年2月3日(木)
3月度 令和4年3月3日(木)

委員長：西川元基
出席者：各部署から1名以上の選出された者
活動内容：施設内行事、慰問、レク等の企画と実施

(4) 栄養委員会

開催日：4月度 令和3年4月13日(火)
5月度 令和3年5月11日(火)
6月度 令和3年6月8日(火)
7月度 令和3年7月13日(火)
8月度 令和3年8月10日(火)
9月度 令和3年9月14日(火)
10月度 令和3年10月12日(火)
11月度 令和3年11月9日(火)
12月度 令和3年12月14日(火)
1月度 令和4年1月11日(火)
2月度 令和4年2月8日(火)
3月度 令和4年3月8日(火)

委員長：今井直子

出席者：施設長、各部署から1名以上の選出された者

活動内容：給食関係についての勉強と改善
栄養ケアマネジメントに基づいての勉強、改善

(5) ノーリフティング委員会

開催日：4月度 令和3年4月6日(火)

6月度 令和3年6月1日(火)

8月度 令和3年8月3日(火)

10月度 令和3年10月5日(火)

12月度 令和3年12月7日(火)

2月度 令和4年2月1日(火)

3月度 令和4年3月8日(火)

委員長：伊東丈気

出席者：担当者会メンバー、特養フロアリーダー
特養介護職員各フロアから2名

活動内容：ノーリフティングケアに関する知識と技術の習得
ノーリフティングケアの施設内普及



9. 施設全体行事等

開催日	行事等内容
令和3年 4月 5日 (月)	行事食 (お花見弁当)
5月11日 (火)	行事食 (母の日御膳)
6月18日 (金)	行事食 (父の日御膳)
7月28日 (水)	行事食 (土用の丑うなぎ重)
8/1(日)・4(水)・5(木)・20(金)	各事業所・各部門 夏祭り対応
8月24日 (火)	行事食 (夏祭りメニュー)
9月17日 (金)	行事食 (敬老の日祝い御膳)
10月15日 (金)	行事食 (秋祭りメニュー)
11月15日 (月)	行事食 (にぎり寿司御膳)
12/17(金)・19(日)・22(水)	各事業所・各部門 クリスマス会対応
12月31日 (木)	行事食 (年越しそば)
令和4年 1月 1日 (土)	行事食 (おせち料理)
1月20日 (木)	行事食 (賀寿のお祝い御膳)
1月23日 (日)	ケアハウス新年会対応 (独りすき焼き)
2月 3日 (木)	行事食 (節分の日恵方巻)
3月 4日 (金)	行事食 (ひな祭り御膳)

新型コロナウイルス感染症予防のため全体的な施設行事や慰問会は開催せず、各事業所・部門において規模縮小した行事のみを実施する。

そうしたことから、「ご利用者には日々、食で楽しみを!」との方針により、管理栄養士をはじめとする調理員、また介護職員等の協力により毎月の行事食について例年以上に充実したものとなるよう努めた。

10. 職員研修等

(1) 施設内研修 等

開催日	研 修 内 容	参加者数
令和3年 6月 7日 (月)	第1回感染症対策研修 (食中毒について)	25 名
7月 8日 (木)	第1回リスクマネジメント研修	21 名
8月 6日 (金)	褥瘡予防に関する研修	19 名
9月15日 (水)	第1回高齢者虐待防止及び身体拘束廃止に関する研修	23 名
10月 1日 (金)	総合火災訓練 (昼間想定)	50 名
10月 1日 (金)	防災に関する研修	29 名
12月17日 (金)	シェイクアウト愛媛 ～県民総ぐるみ地震防災訓練～	130 名
12月22日 (水)	第2回感染症対策研修	33 名
令和4年 1月24日 (月)	看取りに関する研修	28 名
4月15日 (月)	総合火災訓練(夜間想定) ※令和3年度分	35 名
施設内研修等 総数 10 施設内研修等 延参加者数 393 名		

(2) 施設外研修 等

開催日	研 修 等 内 容	主催者	出席者数
令和3年 4月19日(月)	最新介護経営セミナー	愛媛県社会福祉法人経営者協議会	1名
6月19日(土)	介護員養成研修等指導員講習会	愛媛県介護実習・普及センター	1名
7月10(土)・11(日)	介護員養成研修等指導員講習会	愛媛県介護実習・普及センター	1名
7月27日(火)	科学的介護「LIFE」推進加算への取り組み研修	愛媛県介護労働安定センター	1名
8月 6日(金)	令和3年度第1回施設長研修会	愛媛県老人福祉施設協議会	1名
8月7日(土)・8日(日)	介護員養成研修等指導員講習会	愛媛県介護実習・普及センター	1名
8月19日(木)	第16回愛媛県老人福祉施設大会	愛媛県老人福祉施設協議会	1名
8月23日(月)	防災に関する研修会	愛媛県社会福祉法人経営者協議会	1名
8月25日(水)	デイサービスセンター職員研修会	愛媛県老人福祉施設協議会	1名
8月26日(木)	軽費・ケアハウス職員研修会	愛媛県老人福祉施設協議会	1名
9月10(金)・28(火)	介護保険施設で働く管理栄養士・栄養士のための研修会	愛媛県栄養士会	1名
10月2日(土)・3日(日)	介護員養成研修等指導員講習会	愛媛県介護実習・普及センター	1名
10月 6日(水)	感染症発生施設初期対応支援者養成研修	愛媛県老人福祉施設協議会	1名
10月12日(火)	社会福祉法人愛美会における重点事業紹介の研修	愛媛県社会福祉法人経営者協議会	1名
10月18日(月)	全軽協四国ブロックセミナー	全国軽費老人ホーム協議会	1名
11月1日(水)・2日(木)	排泄支援とノーリフティング研修会	愛媛県社会福祉協議会	1名
11月 4日(木)	成年後見制度研修会	愛媛県在宅介護研修センター	1名
11月10日(水)	排泄ケア改善セミナー	ユニ・チャーム株式会社	1名
11月13日(土)	介護員養成研修等指導員講習会	愛媛県介護実習・普及センター	1名
12月10日(金)	令和3年度社会福祉法人監事監査研修会	愛媛県社会福祉法人経営者協議会	1名
12月23日(木)	防災に関する研究・研修会	愛媛県老人福祉施設協議会	1名
令和4年 2月21日(月)	LIFEの導入とこれからの介護現場の在り方	愛媛県社会福祉協議会	3名
3月10日(木)	デイサービスセンター戦略会議	愛媛県老人福祉施設協議会	1名
参加した施設外研修等 総数 23 施設外研修等 延参加者数 25 名			

職員研修等は、新型コロナウイルス感染対策を徹底したうえで、ほぼ例年どおり充実した内容の施設内研修会等を開催し、職員のスキルアップを図ることができた。

施設外研修は、感染症対策の徹底と WEB 開催の活用により、前年度と比較して多くの研修会等が開催された。

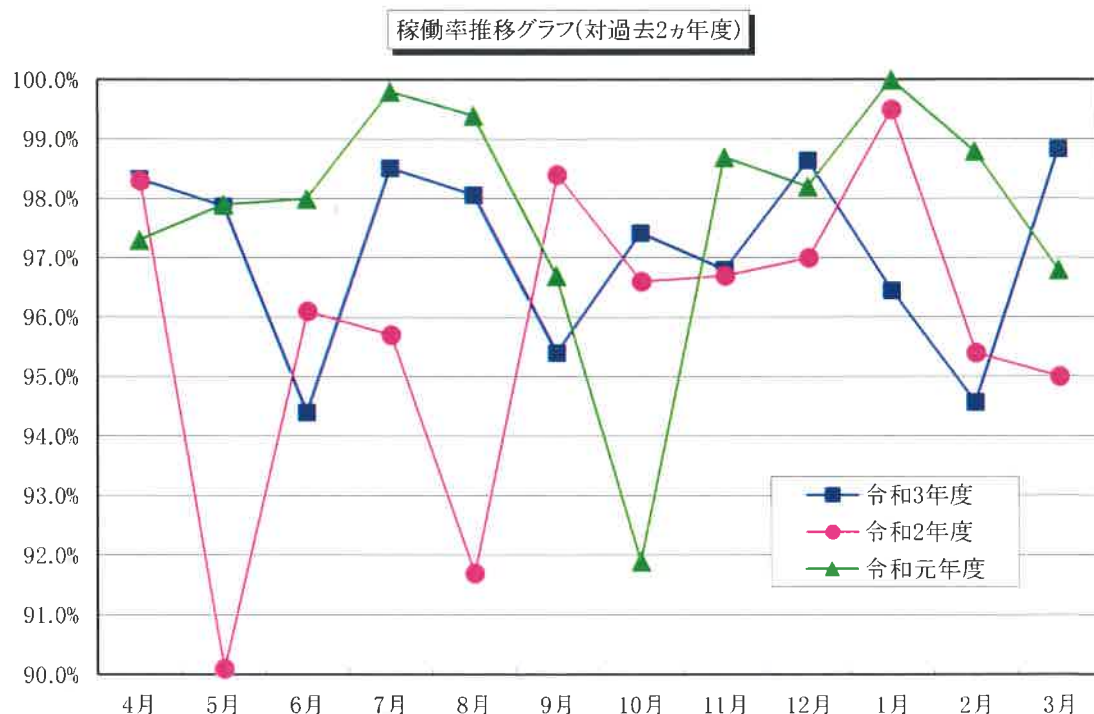
1 1. 特別養護老人ホームなごみ事業

(1) 稼働状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実績延人数(人)	1,475	1,517	1,416	1,527	1,520	1,431
稼働率	98.3%	97.9%	94.4%	98.5%	98.1%	95.4%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実績延人数(人)	1,510	1,452	1,529	1,495	1,324	1,532
稼働率	97.4%	96.8%	98.6%	96.5%	94.6%	98.8%

(注1)実績延人数には長期入院時等、介護保険請求対象外となるものは含まれません。

令和3年度計	
実績延人数	17,728
年間稼働率	97.1%

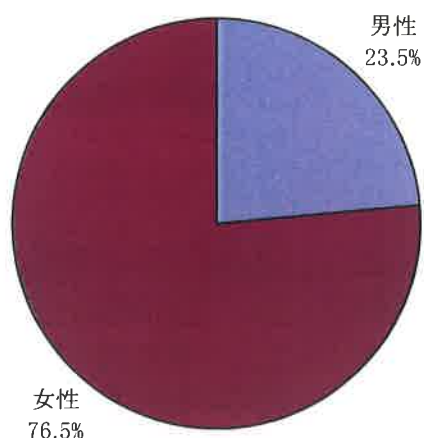


令和3年度の平均入所稼働率は97.1%、これは前年度の95.2%に対して+1.9%であり例年以上の高稼働率となった。

高稼働率の維持が高収入の必須要件であるが、入所者の重度化により、入退所の増加や利用料を算定できない6日以上長期入院者が多く発生することで満室状態を維持するということが容易でない状況となっている。

(2) 入所者男女別割合と要介護度状況

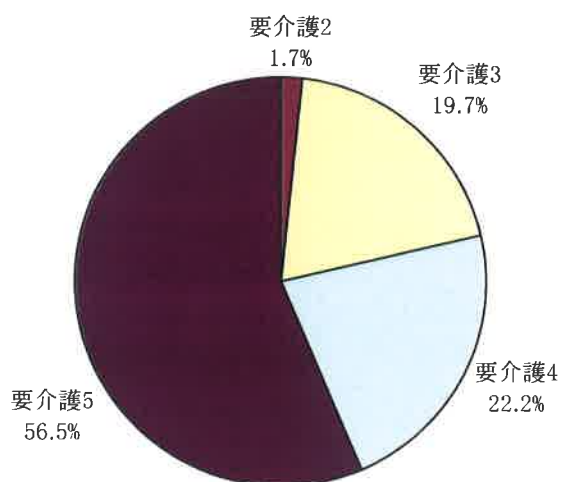
令和3年度入所者男女別割合



令和3年度中の入所者男女別割合は、女性が76.5%、男性が23.5%であった。

なお、前年度は女性75.4%、男性が24.6%であったので、若干女性入所者の割合が増加した。

令和3年度入所者要介護度別割合



令和3年度中の入所者要介護度別割合は、要介護度5が56.5%と最も多く、次いで多い要介護度4と合わせると78.7%になる。

特養は、介護度3以上の入所が原則であり、入所指針により重度者が優先入所となっていることに起因する。

(3) 入所者平均要介護度

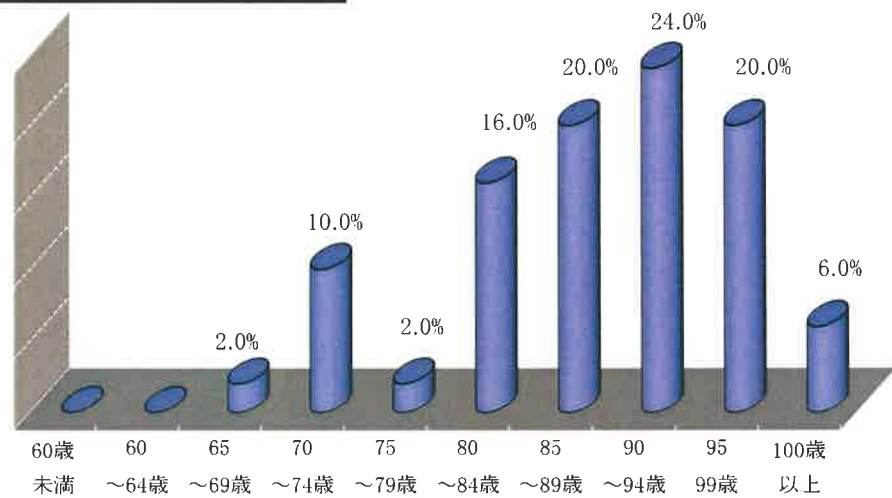
(単位：要介護度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平均要介護度	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.3	4.3	4.3	4.3

各月末時点での入所者平均要介護度は、4.3～4.4を維持しており、年間平均要介護度は4.3であった。

(4) 入所者年齢状況 (令和4年3月31日時点)

令和3年度末日時点の入所者年齢層別割合



令和3年度末時点の 最高・最少・平均年齢	最高 年齢	104 歳	最少 年齢	69 歳	平均 年齢	88.2 歳
-------------------------	----------	-------	----------	------	----------	--------

令和3年度末時点の入所者の年齢状況は、90～94歳が24.0%と最も多くなっている。また、最高年齢者104歳、最少年齢者69歳、平均年齢は88.2歳であった。100歳以上の入所者は3名であった。

(5) 入所者の入所期間状況 (令和4年3月31日時点)

(単位：人)

	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 9年未満	9年以上	合 計
男 性	3	6	2	2			13
女 性	5	17	9	3	3		37
合 計	8	23	11	5	3	0	50
割 合	16.0%	46.0%	22.0%	10.0%	6.0%	0%	100.0%

平均入所期間	男性	30.5 ヶ月	女性	34.5 ヶ月	全体	33.5 ヶ月
--------	----	---------	----	---------	----	---------

令和3年度末時点の入所者の入所期間状況は、入所期間1年以上3年未満が23名と最も多く全体の46.0%を占めており、平均入所期間は33.5ヶ月（約3年弱）、最長者は7年9ヶ月であった。入所者の重度化により入所されてから退所されるまでの期間は、短くなる傾向にある。

(6) 入退所状況

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入 所		1	1		1	
退 所	1		1	1		
月末在所者	49	50	50	49	50	50
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入 所		2	1	2		1
退 所	1	1	2	1	1	
月末在所者	49	50	49	50	49	50

(注 1)入退所数は各月中の入退所者数です。

令和3年度 計	
入所総数	9
退所総数	9

令和3年度における入退所状況は、退所者数9名、入所者数9名であった。前年度は例年にない約20名の入退所であったが、令和3年度は例年並みとなっている。

9名の退所理由は、すべてお亡くなりになられての退所であった。

また、入所者9名の入所時の要介護度は、要介護度4が7名、要介護度5が2名であった。

(7) 入所待機者(入所申込者)状況

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
各月末時 待機者数	196	201	191	198	200	196
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	199	197	212	214	220	224

令和3年度の各月末時点での待機者数をみると、200名前後で推移、年度末に若干増加し、年度末時点で224名の待機者となっている。

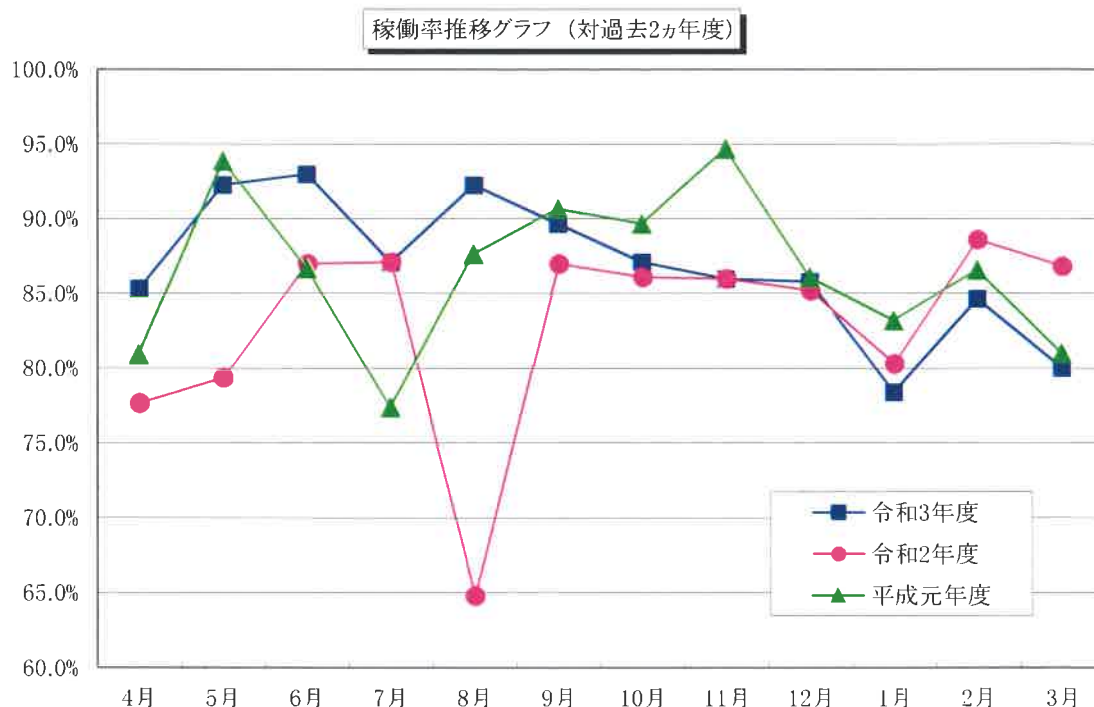
待機者数は徐々に減少傾向であり、サービス付高齢者住宅、有料老人ホーム等、施設系の選択肢が増えていることが要因と考えられる。

12. ショートステイなごみ事業 (短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護)

(1) 稼働状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実績延人数(人)	256	286	279	270	286	269
稼働率	85.3%	92.3%	93.0%	87.1%	92.3%	89.7%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実績延人数(人)	270	258	266	243	237	248
稼働率	87.1%	86.0%	85.8%	78.4%	84.6%	80.0%

令和3年度 計	
実績延人数	3,168
年間稼働率	86.8%

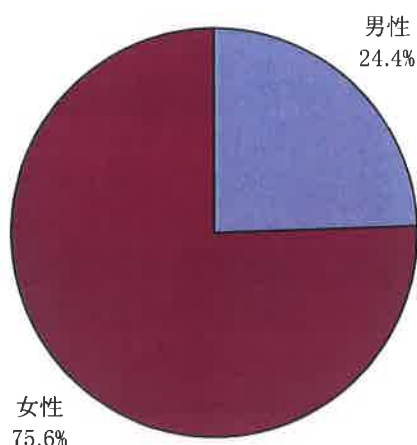


令和3年度の平均稼働率は86.8%、前年度の82.7%に対して+4.1%であった。終盤に若干落としたものの、毎月85.0%ラインを上回る稼働率推移とできた。

ショートステイは、利用者の固定化傾向にある事業ではあるもの、新規利用者の確保と可能な限り空室の隙間を埋める等、安定した高稼働域での推移を保つための対策が求められる。

(2) 利用者男女別割合と要介護度状況

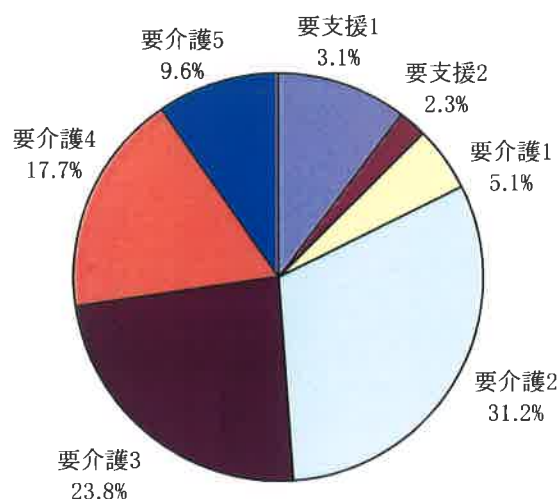
令和3年度利用者男女別割合



令和3年度中の利用者男女別割合は、女性が75.6%、男性が24.4%であった。

なお、前年度割合は、女性66.4%男性33.6%であり、前年度に比べて女性の割合が約1割近く高くなっている。

令和3年度利用者要介護度別割合



令和3年度中の利用者要介護度別割合は、要支援者は全体の5.4%であり前年度の5.8%とほぼ同じ割合である。

要介護度者では、要介護度2が31.2%と最も多く、要介護度3とあわせ約半分を占め、中度者の利用が多い傾向である。

(3) 利用者平均要介護度

(単位：要介護度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平均要介護度	2.5	2.6	2.9	2.7	2.6	2.4	2.5	2.6	2.5	2.6	2.6	2.6	2.6

(注1) 要支援1を介護度0.25、要支援2を介護度0.5として全体の平均介護度を算出しています。

令和3年度の各月末時点での利用者平均要介護度は、2.4～2.9で年間推移しており、年間平均要介護度は2.6であった。これは前年度よりも若干低い傾向にある。

(4) 利用者年齢状況 (利用者平均年齢)

(単位：歳)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月次平均 年 齢	87.4	88.3	88.7	89.8	89.5	90.4	89.4	89.0	87.9	87.4	87.3	87.2	88.6

令和3年度ショートステイ利用者の平均年齢は、88.6歳であった。

(5) 利用頻度状況 (令和4年3月利用者)

1利用者が1ヶ月中にショートステイを利用する回数

	月1回	月2回	月3回	月4回	月5回	合 計
人 数	11	10	1	1		23
割 合	47.8%	43.6%	4.3%	4.3%		100.0%

1回のショートステイ利用で滞在する利用日数

	3日間以内	4～7日間	8～14日間	15～20日間	21日以上	合 計
人 数	8	18	10	2		38
割 合	21.1%	47.4%	26.3%	5.2%		100.0%

1利用あたりの平均滞在日数	7.2 日
---------------	-------

令和3年度末となる令和4年3月中の利用者について、その利用頻度をみると1利用者が1ヶ月にショートステイを利用する回数は、月1～2回の利用が全体の91.4%であった。

また、1利用あたりの滞在日数では、4～7日間の利用が全体の47.4%と最も多く、1利用あたりの平均滞在日数は7.2日であった。

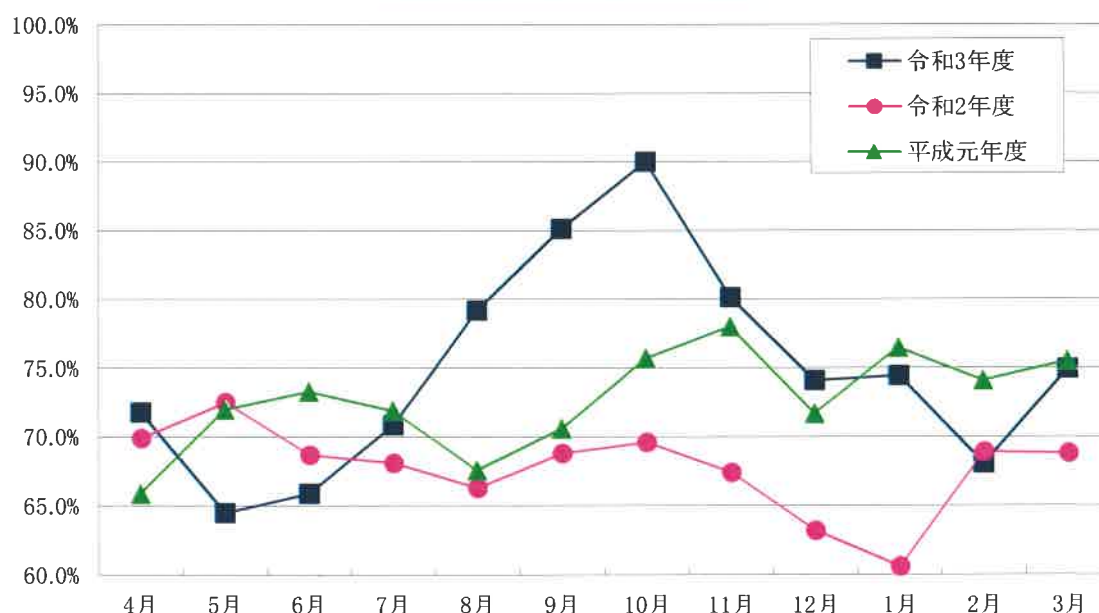
13. デイサービスセンターなごみ事業 (通所介護・介護予防総合支援事業)

(1) 稼働状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実績延人数(人)	560	503	514	574	594	664
稼働率	71.8%	64.5%	65.9%	70.9%	79.2%	85.1%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実績延人数(人)	702	625	578	536	490	607
稼働率	90.0%	80.1%	74.1%	74.4%	68.1%	74.9%

令和3年度 計	
実績延人数	6,947
年間稼働率	74.9%

稼働率推移グラフ (対過去2カ年度)

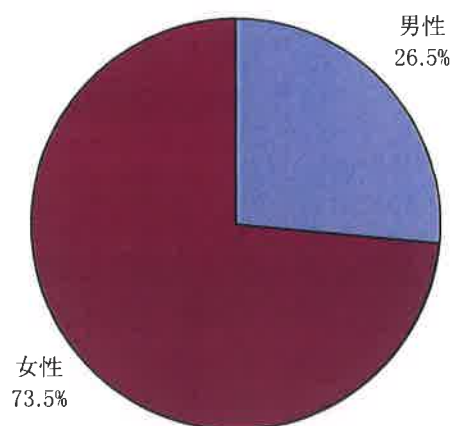


令和3年度の平均稼働率は74.9%、前年度の67.7%に対して+7.2%であった。序盤、終盤と例年並みとなったが、年度半ばでは例年を大きく上回る稼働率とでき、結果、ある程度高い年間稼働率とできた。

これは、担当者による担当ケアマネージャーへの継続的な営業的アプローチの成果であり、今後も継続するとともに利用者確保のための様々な方策をとっていききたい。

(2) 利用者男女別割合と要介護度状況

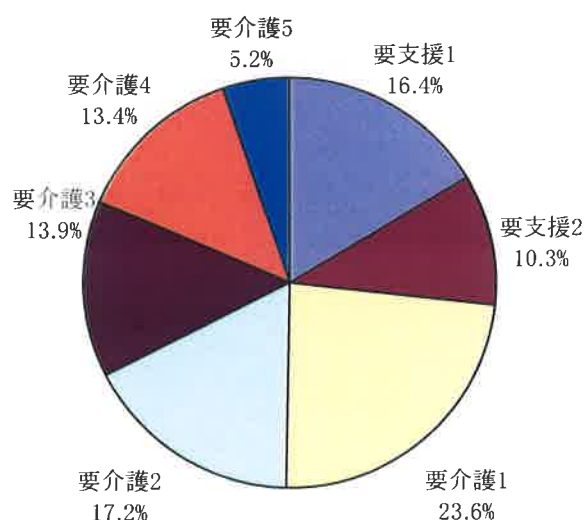
令和3年度利用者男女別割合



令和3年度中の利用者男女別割合は、女性が73.5%、男性が26.5%であった。

なお、前年度割合は、女性72.8%、男性27.2%であったので、女性利用者の割合が若干高くなっている。

令和3年度利用者要介護度別割合



令和3年度中の利用者要介護度別割合は、最も多いのが要介護度1で23.6%であるが、要介護度5を除くすべてが1割以上を占めている。

要支援者は、総合支援事業利用者となるが、全体の26.7%を占めており、この割合は増加傾向にある。

(3) 利用者平均要介護度

(単位：要介護度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平均要介護度	2.0	1.9	1.8	1.8	1.8	1.9	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7	1.7	1.8

(注1) 要支援1を介護度0.25、要支援2を介護度0.5として全体の平均介護度を算出

令和3年度の各月末時点での利用者の平均要介護度は平均1.8、前年度平均より0.3低くなっている。

(4) 利用者年齢状況（利用者平均年齢）

（単位：歳）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月次平均 年 齢	88.4	88.3	88.1	87.8	87.3	87.9	87.7	87.6	88.1	88.1	88.6	88.2	88.0

令和3年度デイサービス利用者の平均年齢は88.0歳であり、軽中度者割合が高いにもかかわらず高齢な利用者が多い傾向にある。

(5) 利用頻度状況（令和4年3月利用者）

1 利用者が1週間に利用する基本回数パターン

	週1回	週2回	週3回	週4回	週5回以上	合 計
人 数	13	25	11	10	6	65
割 合	20.0%	38.5%	16.9%	15.4%	9.2%	100.0%

令和3年度末となる令和4年3月中の利用者における利用頻度について、1利用者が1週間にデイサービスを利用する基本回数は、週2回利用が最も多く全体の38.5%となっている。

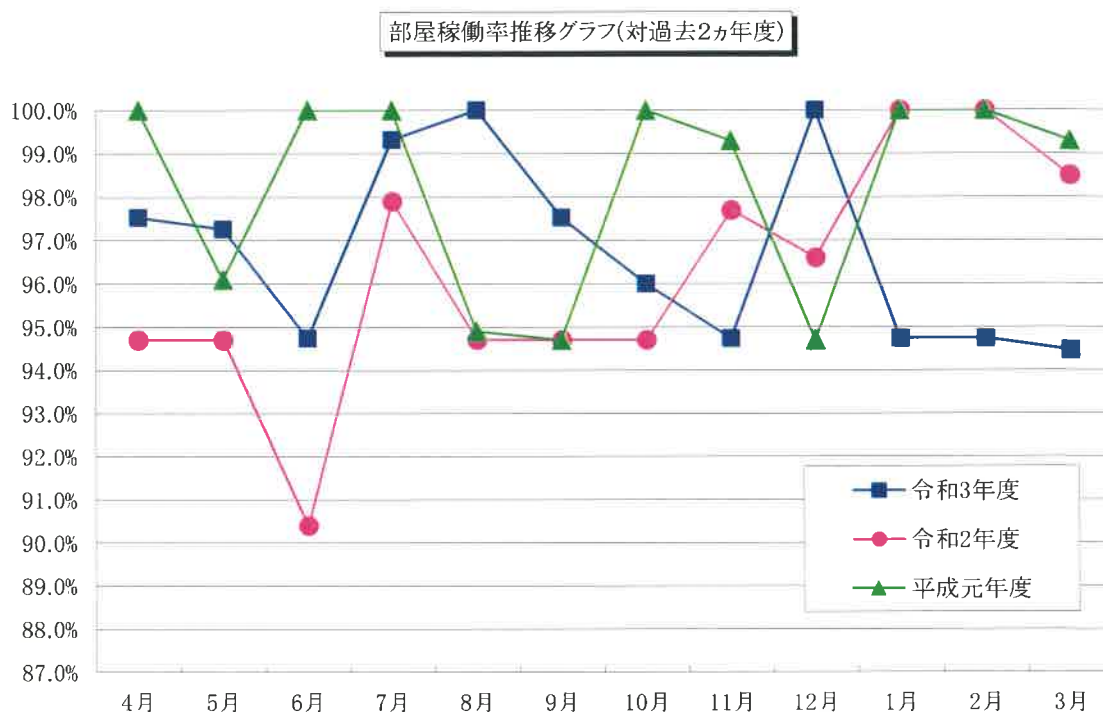
なお、この数値はケアプランに基づく計画段階のものであり、この月の出席率は90.1%であった。いかにこの計画どおりにお休みされことなく利用いただくかが高稼働率の維持にも影響する。



14. ケアハウスひだまり 事業

(1) 居室稼働状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年 間 稼働率
月 間 稼働率	97.5%	97.3%	94.7%	99.3%	100%	97.5%	96.0%	94.7%	100%	94.7%	94.7%	94.5%	96.8%



令和3年度の年間居室稼働率は96.8%、前年度96.2%に対して－0.6%であり、1ヵ月とおして満室とできた月は2ヵ月のみであった。

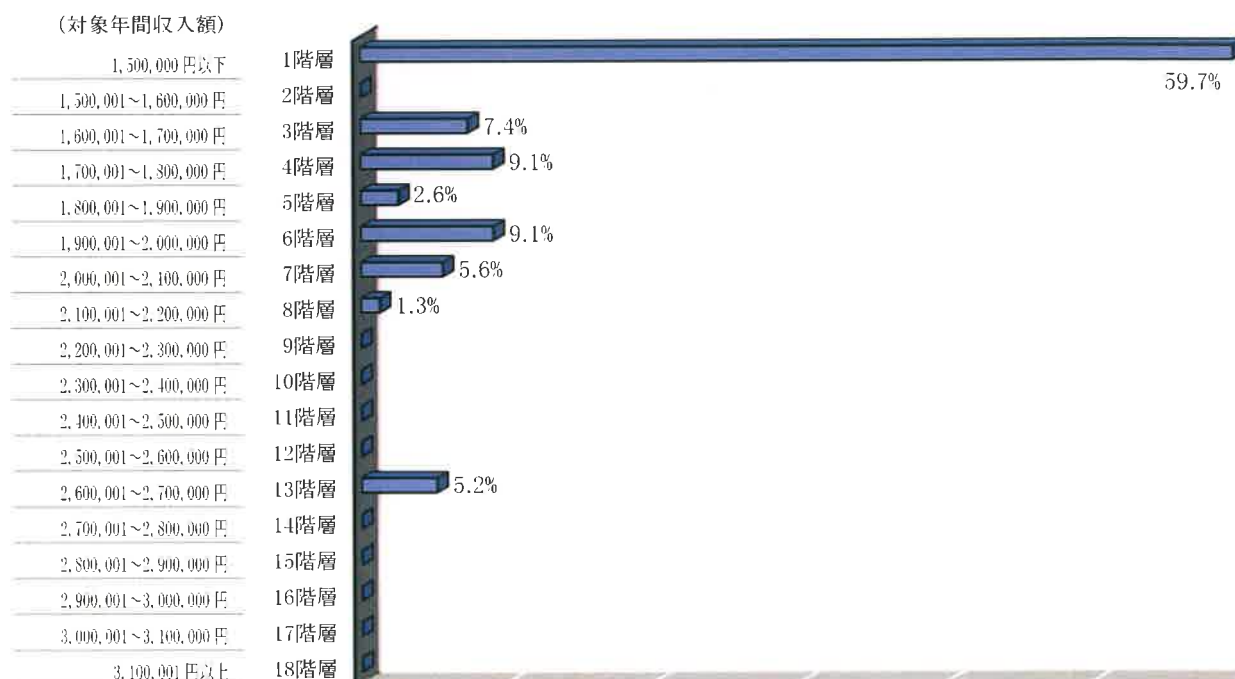
ケアハウスの場合、申込者はご自身の将来のために入居申し込みをされているケースが多く、いざ自分が入居できるとなっても、まだ慣れた自宅で生活されたいとのことで簡単に入居いただけないケースも多い。待機者の数も少なく、特養とは異なり空室が出た場合の対応がスムーズに行かない場合もある。

(2) 利用料金自己負担額に関わる入居者収入階層状況

(単位：人)

階層区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
1階層	12	13	12	12	13	13	11	11	11	10	10	10	138
2階層													
3階層	1	1	1				1	1	3	3	3	3	17
4階層	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	21
5階層	2	2	2										6
6階層	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	21
7階層				2	2	2	2	1	1	1	1	1	13
8階層	1	1	1										3
9階層													
10階層													
11階層													
12階層													
13階層	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
14階層													
15階層													
16階層													
17階層													
18階層													
合 計	19	20	19	19	20	20	19	18	20	19	19	19	231

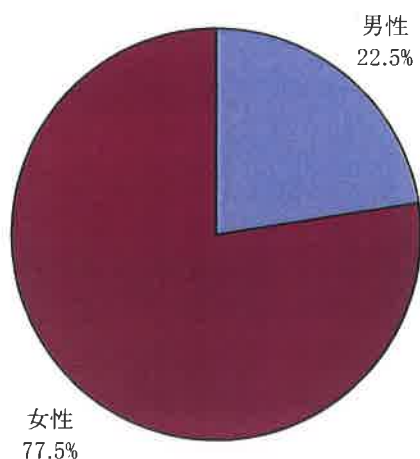
(注 1) ケアハウス事務費補助金算定の基礎となる各月 1 日時点の入居者数です。



入居者の利用料金自己負担額、また愛媛県からの事務費補助金額は、各入居者の前年中の対象収入額で位置付けられる階層で決定されるが、令和 3 年度も例年のように階層 1 の方が全体の 59.7%と最も多い状況にある。

(3) 入居者男女別割合と要支援・要介護度状況

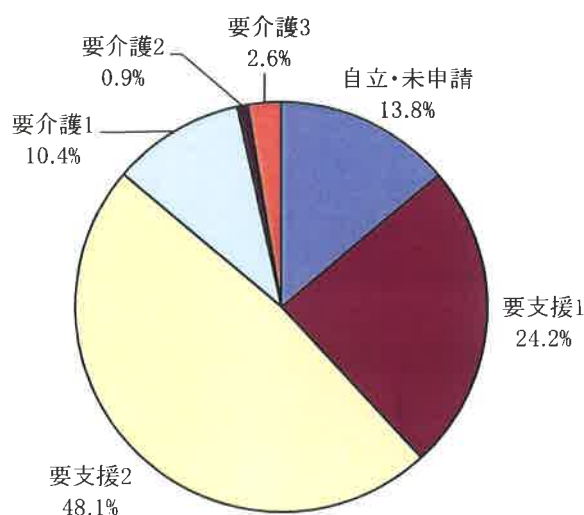
令和3年度入居者男女別割合



令和3年度中の入居者男女別割合は、女性が77.5%、男性が22.5%であった。

なお、前年度割合は、女性80.6%男性19.4%であったので、男性入居者の割合が高くなっている。

令和3年度入居者要介護度別割合



令和3年度中の入居者要支援・要介護度別割合は、最も多いのが要支援2で48.1%である。

入居者のうち86.1%が自立もしくは要支援者となっているが、以前と比較すると入居者の要介護度化が進んでいる傾向にある。

なお、要介護度3の方は二人部屋に入居のご夫婦のお一人でケアハウスにおける老々介護が課題となり、年度途中に介護施設に移られた。

(4) 要支援者・要介護度認定者における平均要介護度

(単位：要介護度)

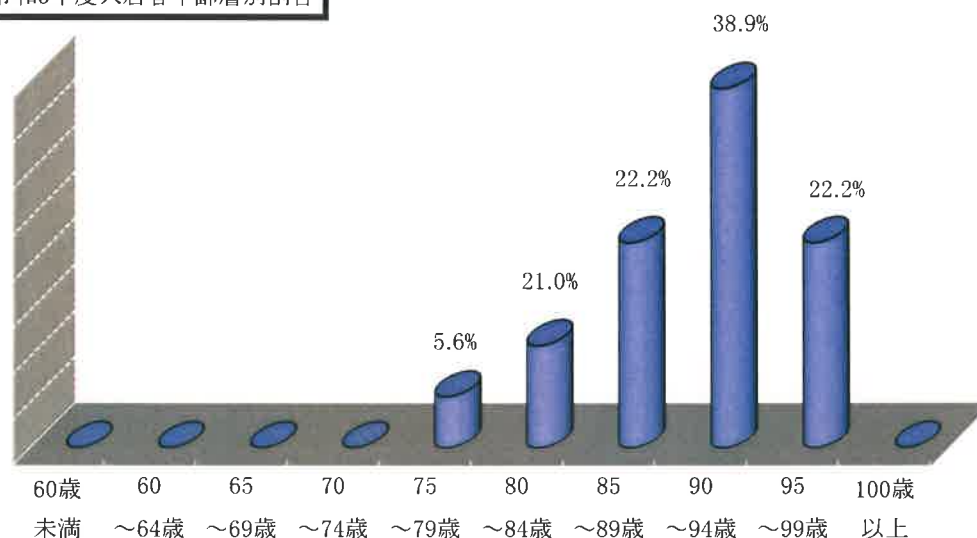
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平均要介護度	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5

(注1) 要支援1を介護度0.25、要支援2を介護度0.5として全体の平均介護度を算出しています。

要支援、要介護認定を受けている入居者の平均要介護度は0.5であった。

(5) 入居者年齢状況（令和4年3月31日時点）

令和3年度入居者年齢層別割合



令和3年度末時点の 最高・最少・平均年齢	最高 年齢	97歳	最少 年齢	79歳	平均 年齢	89.8歳
-------------------------	----------	-----	----------	-----	----------	-------

令和3年度末時点の入居者の年齢状況は、90～94歳が38.9%と最も多くなっている。また、最高年齢者は97歳、最少年齢者は79歳、平均年齢は89.8歳であった。

(6) 入居者の介護保険サービス利用状況（令和4年3月入居者）

（単位：人）

利用なし	訪問介護		デイサービス	デイケア	福祉用具貸与	訪問看護	訪問リハビリ	利用者合計
3	14		10	0	11	0	1	36
	身体介護	生活援助						
	2	15						

（注1） 令和3年度末月（令和4年3月）入居者における内容です。

（注2） 1人の入居者が複数の居宅サービスを利用しているケースもあることから合計は定員数（20名）を上回ります。

（注3） 利用者合計数には、利用なしの者を含んでいません。

要支援、要介護認定を受けている方の多くは、介護保険居宅サービスを利用されており、訪問介護の利用が最も多く14名となっている。また福祉用具貸与の利用も多い。

なお、デイサービス利用者10名のすべてが併設のデイサービスセンターなごみを利用されている。

(7) 入退居状況

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入居	1			1		
退居		1				1
月末在居者	20	19	19	20	20	19
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居			2			
退居	1		1			1
月末在居者	18	18	19	19	19	18

(注 1)入退居者数は各月中の入退居者数です。

令和3年度 計	
入居総数	4
退居総数	5

令和3年度中の入退居状況は、入居4名、退居5名と例年と比較して多い年度であった。退居者5名の理由は、身体機能低下によりケアハウスでの生活が困難となり他の介護施設へ入所された方である。

(8) 入居待機者(入居申込者)状況

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
各月末時	26	26	26	26	26	26
待機者数	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	27	27	25	25	27	28

令和3年度末での入居申込者数は28名である。入居相談があった場合、ケアハウスでの生活が介護保険居宅サービスを利用されたとしても困難と見受けられる方には申し込みをお断りさせて頂いているため、大きな待機者の増加はみられない。

待機者には、入居申込みをされていても在宅で元気に暮らしている方が多く、直ぐに入居を望まれている方は少ない。

15. そ の 他

(1) 特別養護老人ホームなごみ家族会

特養なごみ入所者のため、家族相互の連携及び施設への運営協力を目的とする特別養護老人ホームなごみ入所者のご家族で構成される家族会により、令和3年度においても次のような積極的な活動、また施設へのご支援をいただいた。

なごみ家族会 令和3年度総会

開催日 令和3年4月10日(土)

協議事項 ・令和2年度収支決算

・令和3年度なごみ家族会活動の取り組みについて

※ 新型コロナウイルス感染症により開催中止、会員へは、報告事項等を書面で報告する。

なごみ家族会 令和3年度第1回奉仕活動

新型コロナウイルス感染症予防のため中止

なごみ家族会 令和3年度第2回奉仕活動

開催日 令和3年11月13日(土)

内 容 施設敷地内の草引き、清掃

【令和3年度 家族会からの寄贈品等】

◇ 車 椅 子 1台

◇ 入所者おやつ提供 年間12回(和菓子、洋菓子、フルーツ等)
経管栄養の入所者へフェイスタオル

◇ クリスマス会助成金 特養1・2階へ各50,000円

◇ 職員へ商品券 @1,000円×68名